

“美心” (ちむぐる)



独立行政法人国立病院機構
沖 縄 病 院



〒901-2214
沖縄県宜野湾市我如古3丁目20番14号
TEL : 098(898)2121
FAX : 098(898)6433 (地域連携室直通)

2020年12月 No.103 発行/地域医療連携室



『Withコロナ』の中での病診連携

ぐすーよー、ちゅーうがなびら

平素は当院の診療と運営にご理解とご協力賜り、心から感謝申し上げます。

現在、沖縄県におけるコロナ感染状況はフェーズ3B(感染流行期)ですが、再びフェーズ4を窺う状況になってまいりました。この秋から冬にかけては、インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行も懸念されています。日本政府、沖縄県は経済を回しながら新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めるという難しい舵取りを選択しました。一般市民に対する啓蒙活動が最も大切ではありますが、Withコロナの時代の今こそ、地域の病診連携で早期診断と適切な治療の早期導入が求められます。この挨拶文が皆様のお手元に届くころには新型コロナウイルス感染症の分類も現在の『2類相当』からインフルエンザと同等程度に下げられている可能性があります。そのことから病診連携による早期診断と適切な治療の導入は重要度が増してきます。当院職員は限られた医師数、コロナ感染症の専門以外の医師・病院職員が身を粉にして一致団結して事にあたっておりますことをご理解いただければ幸いです。当院はこれからも沖縄県医師会の一員として沖縄県民の健康と命を守るべくできる限りの協力をしてまいります。

一方で、Withコロナの状況にありましても肺がん、結核、神経難病の診断と治療におきましては診断・治療の遅れとならないよう、また緩和医療におきましても専門病院基幹病院としてしっかりと診療と受け入れ態勢を取らせていただいております。合わせて感染拡大防止策もしっかりと講じておりますので安心してご相談ください。



一致団結し、頑張りましょう！

令和2年12月

国立病院機構沖縄病院 川畑 勉

基本理念

患者さまの立場を尊重し
高度で良質の医療を提供します

運営方針

1. 政策医療を中心に、質の高い適切な医療サービスの提供
2. 患者さまの視点に立った、温かく思いやりのある接遇
3. 健全な経営基盤の確立
4. 安心して療養に専念できる快適な環境
5. 臨床研究の活性化と臨床教育・研修機能の充実

GINOWAN CITY FM 81.8MHz
ぎのわんシティFM

毎週月曜日9時30分から当院職員による病気に関する様々な情報をラジオ放送しております。当院HPにも放送内容を掲載しておりますのでご覧ください。



ICT 委員会活動報告



新型コロナウイルス感染症対策に向けた沖縄病院ICTの取り組み

令和2年10月26日 ICT

2019年12月、中華人民共和国の湖北省武漢市で肺炎患者の集団発生が報告され、武漢市の封鎖などの強力な対策にも関わらず、新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の感染は世界に拡大し、WHOは公衆衛生上の緊急事態を2020年1月30日に宣言しました。日本国内においても1月16日に初めての患者が報告され、2月1日に指定感染症に指定されました。感染の流行拡大とともに、市民の生活に様々な影響を及ぼし、現在も流行の終息の見通しがたない状況です。

ICTとしてもこのような日本国民の生活をも変えてしまうような感染症の流行を初めて経験しました。当院には免疫力の低下した患者さまが多く入院されており、重症化の恐れがあるため、ICTとして環境整備を初めとする標準予防策の徹底と共に病院内にウイルスが持ち込まれないよう対策をとっています。病院玄関に職員を配置し、すべての来院者の発熱の有無を確認し、トリアージを行っています。また、面会においても全面禁止とし、手術を受ける患者さま・病状説明が必要な患者さまに限り、ご家族に問診の上、面会に来て頂いています。さらに、職員においても毎朝の体調チェック、手指衛生とユニバーサルマスキング等の標準予防策の徹底をはかっています。職員一人一人が体調管理に努め、病院内だけでなく日常生活の過ごし方についても厚生労働省から出されている「新しい生活様式の実践例」を遵守し、そうすることで患者さまへの感染を防ぐことができます。

当院においては、沖縄県の要請により新型コロナウイルス感染症の患者さまの入院診療にも対応を行っています。受け入れにあたっては、多職種でシミュレーションを行い、入院までの連絡・移動方法、検査手順などをそれぞれの担当スタッフと話し合いながら準備を進めました。病室に陰圧装置も設置されて万全な状態に整えられています。

沖縄県は人口あたりの新規感染者数が日本一の状態が継続しており、まだまだ予断を許さない状況となっています。これからも全職員で「一致団結」し、力を合わせてこの難局を乗り越えていきたいと思っております。



アイソレーター付の車椅子



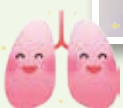
面会受付

専 医 介 攻 紹

内科 専攻医 小山 倫子



こんにちは。初めまして。中頭病院内科専攻医の小山倫子と申します。うるま市出身の沖縄育ちです。大学は琉球大学なので沖縄病院の近くに住んでいた時期もあり懐かしいな~と思う風景がいっぱいです。中頭病院のプログラムで10月から沖縄病院で研修させてもらっています。呼吸器内科、神経内科、緩和医療科を2か月ずつローテーションする予定です。もう2か経過してしまいましたが、看護師さん始めスタッフの皆さんが温かくとても働きやすい病院だと思っています。残り4か月も明るく丁寧に頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



戦力紹介

中光 淳一郎 診療看護師



医師が何らかの事情により患者さんへの対応が困難な場合に、迅速かつ安全な医療を提供することが当院での診療看護師の役割の一つとなります。

患者さんを全体で捉えられるように疾患に対する基礎知識や治療内容について専門的な教育を大学院で受けてきました。治療方針などを的確に理解し、治療と看護の両方の視点から患者さんや家族に関われることも特徴です。今後も、沖縄病院の医療の質の向上に貢献することを目標に努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

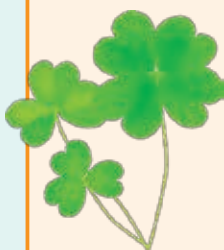
玉村 依子 瘻孔関連 特定行為看護師

私は令和元年度に看護師特定行為研修を受講し、ろう孔管理関連の区分を修了しました。現在は、これまで医師が行っていた、入院患者さんの定期的な胃瘻カテーテル交換を医師の指示の下、手順書に基づいて実施しています。今後、活躍できるように頑張りたいと思います。



目取眞 紗世 呼吸器関連 特定行為看護師

私は、気管カニューレ交換、人工呼吸器・NPPV設定変更など呼吸器関連3区分6行為の特定行為を取得しました。医師と協働し、手順書に沿って特定行為を実践しています。医師と治療方針を話し合った上で、患者さんの症状や状態に合わせて、人工呼吸器の設定変更や人工呼吸器離脱にむけたタイムリーな介入を行っています。症状緩和や治療が円滑にできるように取り組んでいます。患者さんの状態に合わせた、人工呼吸器設定や気管カニューレ交換ができるよう努めていきたいと思います、よろしくお願いいたします。

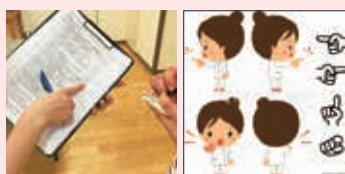


～医療安全係長になりました～

医療安全係長 山本 泉美



医療安全ラウンドの様子



ダブルチェック徹底！

医療安全管理係長としての役割を命じられ、約半年を迎えました。私が医療安全管理係長としての役割を発揮するうえで大切にしていることは、小さな気づきを積極的に報告してもらい、情報提供を行うことで同じようなインシデントを繰り返さないよう働きかけを行うことです。また、医療安全ラウンドを医薬品安全管理責任者・医療機器保守管理責任者とともに月1回程度行い、薬品の保管状況や医療機器の安全使用状況を確認し、各部署で多く発生するインシデント内容の傾向に合わせて現場の潜在的リスクを把握し、フィードバックしています。今月は、経験年数の浅い1～2年目の看護師が安全に人工呼吸器管理を行えているか他者評価し、その結果をもとに助言を行いました。評価を受けた看護師からは、正しい人工呼吸器チェック方法や実際に触って確認することの重要性を再認識できたとの意見も聞かれています。今後も、現場へのラウンドを積極的に行い、当院の医療安全文化の更なる醸成に向け、尽力したいと思います。



～台風レスパイト入院について～

地域
連携室

新里 恵 難病診療連携コーディネーター

当院は、沖縄県難病診療連携拠点病院として、在宅重症難病患者一時入院事業(当院かかりつけ医患者は事業対象外もあります)対象患者様の入院受け入れを行っています。今年は、大型台風9号・10号が発生し、天気予報の台風進路を把握し対象患者様の在宅支援者(介護支援専門員、相談支援専門員)と連携を図り、入院受け入れを実施しました。県外では、台風は進路予想、予測が出来る事から一時入院事業対象外では?と問いかけられた事もありましたが、近年の台風の大型化や災害状況から対応方法について、県外の医療機関から当院に確認もありました。今後も、難病診療連携コーディネーターとして、在宅で医療依存の高い患者様が安心、安全に過ごすことが出来るよう調整を行っていききたいと思います。

【難病診療連携コーディネーターとは】

※在宅で療養されている重症の難病患者さんを介護している方が、休養(レスパイト)や冠婚葬祭等の行事、病気等で介護が出来ない時などに、一時的に医療機関に入院できるよう難病診療連携コーディネーターが事前情報共有の基コーディネートを行います。

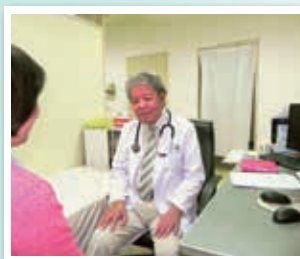


沖縄病院と連携していただいている医療機関をご紹介します



医療法人かなの会
コザクリニック

- ◆診療科目 / 内科・神経内科・リハビリテーション科
- ◆所在地 / 〒904-0014 沖縄県沖縄市仲宗根町19-1
- ◆電話番号 / 098-938-1038
- ◆休診日 / 日曜日 ※日曜日は休診ですが祝日は診療しております。



川平 稔 院長

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～13:00	○	○	○	○	○	○	△
午後2:00～6:00	○	○	○	○	○	○	△

コザクリニックは平成12年2月に内科・神経内科・リハビリテーション科を診療科として開設しました。

在宅で療養されていらっしゃる神経難病の皆様への支援を大きな柱として医業を行っています。また、通院可能な神経難病の皆様のクオリティ・オブ・ライフ(生活の質)の向上に少しでもお役にたてばと、現在、訪問診療・訪問リハビリ・外来リハビリ・難病リハビリ・通所リハビリを行っています。

当院では、パーキンソン病・脊髄小脳変性症・多系統萎縮症・多発性硬化症などの患者様ご利用されており、また神経難病に限らず、脳卒中、運動器疾患(腰痛、変形性膝関節症など)の患者様も利用されております。

私たちは、リハビリテーション医療の充実を図りながら、多くの皆様によりよい医療・介護サービスが提供できますよう頑張っていきたいと考えております。



病院外観